

2025年5月2日

「岡山地区（山陽線）における鉄道物流の災害による 輸送障害に対するBCP策定に向けた官民一体の検討会」の概要について

標題について、当社では「今後の鉄道物流のあり方に関する検討会 中間とりまとめ*（2022年7月公表）」を受け、この間、災害時をはじめとする輸送障害への対策強化への取組みの一つとして、災害時輸送障害に係る「BCP策定に向けた官民一体の検討会」を開催して参りました。

この度、2025年2月から3月にかけて、中国運輸局及び当社を共同事務局とし、岡山県岡山市において、「岡山地区（山陽線）における鉄道物流の災害による輸送障害に対するBCP策定に向けた官民一体の検討会」を計2回開催いたしました。

同検討会においては、輸送障害発生時のトラック・内航海運による代行輸送強化、輸送障害の発生抑制・影響の低減、関係者の連携促進等のために当社におけるBCP策定に向けた取組み内容を共有したほか、課題等について議論を行ない、別紙のとおり本検討会において概要をとりまとめましたのでお知らせいたします。

当社では、今後も関係者と連携しながらBCP策定に向けた官民一体の検討会を各地で開催し、輸送障害への対策を強化して参ります。

（別紙）「岡山地区（山陽線）における鉄道物流の災害による輸送障害に対するBCP策定に向けた官民一体の検討会」の概要について

* 「今後の鉄道物流のあり方に関する検討会 中間とりまとめ」

2022年3月より、諸課題の解決を図り、貨物鉄道が重要な輸送モードとして、その特性を十分に活かした役割を発揮するための政策のあり方等を議論する有識者検討会を開催。5回の議論を重ね、2022年7月、「中間とりまとめ」が公表されました。この検討会では、14の課題が掲げられ、その中の課題の一つとして「災害時をはじめとする輸送障害への対策強化」について提言されました。

**「岡山地区(山陽線)における
鉄道物流の災害による輸送障害に対する
BCP策定に向けた官民一体の検討会の概要について**

2025年5月

岡山地区（山陽線）における 鉄道物流の災害による輸送障害に対するBCP策定に向けた官民一体の検討会 概要について

- ・本検討会は、中国運輸局および日本貨物鉄道(株)を共同事務局とし、岡山地区（山陽線）における鉄道物流の災害による輸送障害に対するBCP策定に向けた官民一体の検討の場として設置した。
- ・輸送障害発生時のトラック・内航海運による代行輸送の強化、輸送障害の発生抑制・影響の低減、関係者の連携促進等について、日本貨物鉄道(株)におけるBCP対策の取組内容を共有した他、課題について議論を行ない、検討会構成員にて一定の確認を行なった。
- ・なお、検討会構成員は次のとおり。

▶官民一体の検討会構成員

利用運送事業者	： 日本通運(株)、全国通運(株)、日本フレートライナー(株)、 (公社)全国通運連盟、全国通運業連合会、協同組合 全国地区通運協会
岡山県	： 産業労働部 産業企画課、土木部 道路整備課、土木部 港湾課
岡山市	： 都市整備局 道路部、危機管理室、下水道河川局 下水道施設部
倉敷市	： 建設局 土木部、水島支所 建設課
水島臨海鉄道(株)	： 管理部、運輸部
国土交通省	： 鉄道局 鉄道事業課
中国運輸局	： 交通政策部、鉄道部、海事振興部
中国地方整備局	： 道路部 交通対策課、港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室
日本貨物鉄道(株)	： 貨物鉄道企画室、営業部、マーケティング戦略室、運輸部、経営企画部、 関西支社

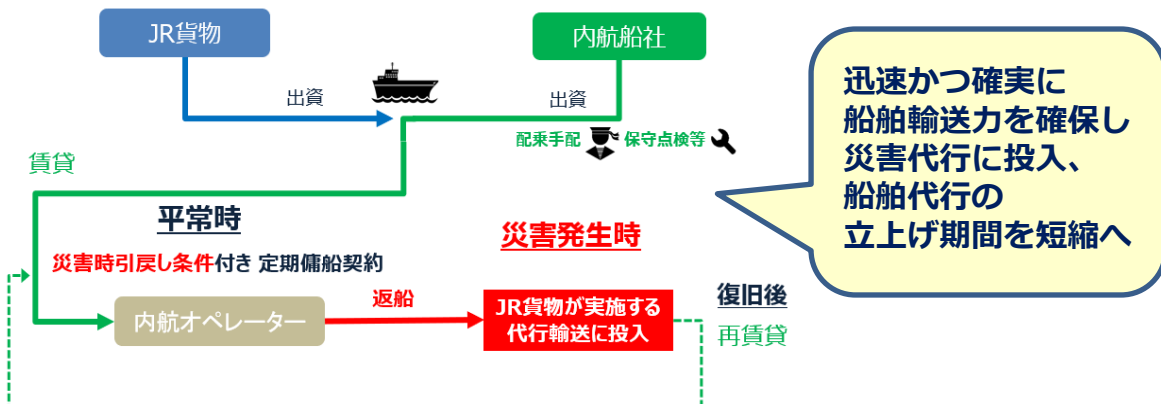
▶開催日時

第1回目開催	： 2025年2月10日（月） 14時～
第2回目開催	： 2025年3月19日（水） 14時～

1. JR 貨物における災害等輸送障害時の対応力強化に向けた取組 【検討会資料一部掲載】

(1) 船舶代行に備えた499船の共同保有

- ・大規模災害発生時に供出することを目的とした499船共同保有



(2) 山陽線新南陽駅のトラック代行拠点駅としての機能強化

- ・コンテナホームの拡張とトラック駐車場整備による代行拠点化

(3) フェーズフリーとしてのトラックおよび船舶輸送の活用

- ・貨物駅間の距離が比較的近い地域で貨物列車による輸送の一部をトラック輸送へ
- ・グループ会社と協働し、JR 貨物グループによる一貫輸送を実施
- ・大規模災害発生時は代行トラックとして供出することで迅速な代行体制確立へ
- ・利用運送事業者との協働により既設の内航航路を通常時から活用
- ・災害発生時に船舶代行を想定する港における関係者との協力体制構築



⇒通常時から併用している他の輸送モードを大規模災害時には代行輸送モードとして活用

2. 速やかな代行体制の確立に向けた課題整理および検討会での確認事項

(1) 代行トラック(コンテナ積載)における通行規制について

(課題等)

- 代行輸送(トラック・船舶)を実施する際は、代行拠点となる岡山貨物ターミナル駅や倉敷貨物ターミナル駅に全国からコンテナ積載用トラックが参集。特殊車両通行許可を個別取得する必要があるが、物流が寸断・混乱する中、許可取得に手間・時間を要する場面あり。

(検討・要望内容)

- 2個積みトラックの高さ・重さ指定道路以外の通行や3個積みセミトレーラー連結車の通行については、トラック代行輸送実施の都度、(公社)全国通運連盟とJR貨物にて国土交通省に対し、特殊車両通行許可手続きの迅速化について、引き続きのご協力を要望。
- 貨物駅～高速IC/港湾区域までの想定経路を「高さ・重さ指定道路」に指定頂くことで、発災後、2個積みトラック(新規格車)による代行輸送はすぐにでも立上げ可能となることから、主要地方道45号線の一部について、「高さ指定道路」の指定を要望。

<確認事項>

- ◎ 特殊車両通行許可について、自治体・国が迅速な処理をすることを確認。
(特殊車両通行許可について、特殊車両通行確認制度を利用することで即時通行が可能)
- ◎ 主要地方道45号線の一部(中区江並79付近～中区新築港1付近)について、「高さ指定道路」に指定する旨を確認。

JRコンテナ積載トラック JRコンテナ積載トラックは、「長さ」「総重量」が法令規制の「一般的制限値」を超える大型の特殊車両が主流

2個積みトラック			
車両規格	コンテナ積載個数	積車合計	
 高さ 約1.1~1.3m(荷台) 重さ 約10トン 長さ 12m以内	12ft × 2個 = 14t 20ft × 1個 = 13.5t 31ft × 1個 = 最大約15t	高さ 2.5~ 2.7m	最大で 高さ 約4.0m 重さ 約25t
3個積みセミトレーラー連結車			
車両規格	コンテナ積載個数	積車合計	
 高さ 約1.0~1.4m(荷台) 重さ 約14トン(トラクタヘッド含む) 長さ 16.5m以内	12ft × 3個 = 21t 20ft × 1個 = 13.5t 31ft × 1個 = 20t	高さ 2.5~ 2.7m	最大で 高さ 約4.0m 重さ 約35t

高さ：3.8m超
 総重量：20t超
 →通行許可等が必要

高さ：3.8m超
 総重量：20t超
 長さ：12m超
 →通行許可等が必要

2. 速やかな代行体制の確立に向けた課題整理および検討会での確認事項

(2) 水島港・岡山港における岸壁使用および港湾荷役作業のご協力、並びに承認手続きの課題

(課題等)

- 迅速な船舶代行立上げのためには、事前に利用を想定する水島港・岡山港で利用する岸壁の想定、利用運送事業者並びに港湾荷役事業者との連携が必要。

(検討・要望内容)

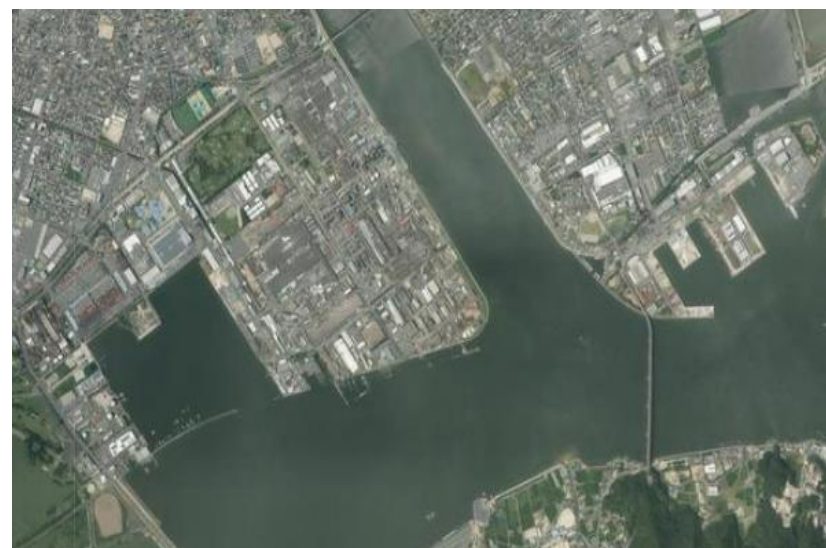
- 発災時、船舶代行立上げ迅速化のため、水島港玉島地区または岡山港福島・高島地区でのバース確保及び港湾荷役作業のご協力を要望。

<確認事項>

- ◎ 利用運送事業者と港湾荷役事業者による調整を受けバース及び港湾荷役作業等が確保される場合は、港湾荷役事業者を通じて港湾管理者へ速やかに使用許可を申請し、許可についても迅速な対応に協力していく。



水島港(玉島地区)



岡山港(福島・高島地区)

いずれも、地理院地図(電子国土Web)より作成

2. 速やかな代行体制の確立に向けた課題整理および検討会での確認事項

(3) 船舶代行拠点として水島臨海鉄道(株) 倉敷貨物ターミナル駅の利用検討

(課題等)

- 岡山貨物ターミナル駅単独では、過去の経験から岡山エリア発着貨物、代行輸送へ（から）接続するすべての貨物を捌ききれない。

(検討・要望内容)

- 倉敷貨物ターミナル駅に船舶代行の拠点としての機能を担って頂きたい、事前に、発災時を想定した輸送計画の策定、荷役作業の想定および調整への協力を要望。

<確認事項>

- ◎ 船舶代行に接続する倉敷貨物ターミナル駅発着列車については、荷役作業等おおよそ対応可能。

(4) 災害発生時の代行トラック用駐車場確保の課題

(課題等)

- 大規模な代行輸送（トラック・船舶）を実施する際は、全国からコンテナ積載トラックが参集。岡山貨物ターミナル駅周辺におけるトラックの夜間・休日駐車場の確保がボトルネックとなり、代行輸送開始・増強に時間を要す。

(検討・要望内容)

- 発災時、迅速なトラック代行輸送の開始のため、岡山貨物ターミナル駅（岡山市北区野田）周辺に夜間・休日用の代行トラック駐車場スペースとして公共用地等、または、駐車場スペースとなり得る用地の情報提供を要望。

<確認事項>

- ◎ 岡山貨物ターミナル近傍の公共用地を候補地とする。



地理院地図(電子国土Web)より作成